

【1 分解説】CCRC とは？

ライフデザイン研究部 副主任研究員 福澤 涼子

CCRC (Continuing Care Retirement Community) は、米国発祥の高齢者向けコミュニティです。日本では、要介護状態になってから高齢者施設に入所するのが一般的ですが、米国の CCRC は健康なうちから移住し、生涯学習やボランティア活動などに従事しながら、アクティブな高齢期を送ることを推奨する暮らしです。介護が必要になった場合でも、自立型住まいから軽介護型住まい、そして介護施設へと、健康状態に応じて住み替えながら、同じコミュニティの中で生涯を過ごすことができる仕組みとなっています。

日本では、2015 年に地方創生のための総合的な指針「まち・ひと・しごと創生基本方針」において、「日本版 CCRC」構想が盛り込まれました。日本版 CCRC は「生涯活躍のまち」と呼ばれ、都市部などの高齢者が自らの希望で地方などへ移住し、多世代交流や地域共生活動に参加しながら、必要な時には医療・介護サービスを受けられるというものです。2025 年 6 月に閣議決定された「地方創生 2.0 基本構想」では、高齢者のみならず全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまち（日本版 CCRC）2.0」に進化させていくため、「3 年後に全国で 100 か所の小規模・地域共生ホーム型 CCRC の展開」を当面の目標としています。「地方創生 2.0」のホームページでは、2025 年 7 月現在、全国の 49 の取組・検討事例を紹介しています。

関連レポート

・「デンマークの高齢者同士の共住から学ぶ～日本でも「遠い親戚より近くの他人」は実現するのか～」(2025 年 1 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/407676.html>

・「高齢者の共同居住は終の棲家になるのか～グループリビングにおける互助の価値～」(2024 年 4 月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/327586.html>